



そこで!

「まち・ひと・しごと創生推進本部」
を立ち上げました!

いつまでも住みたい・住んでみたい・訪れてみたい
「ともに創るオンリーワンの魅力を持つまち」を目指して!

塩竈市の人口減少や少子化問題を解決するために「塩竈市まち・ひと・しごと創生推進本部」を立ち上げました。国の法律(まち・ひと・しごと創生法)に基づき、「新しく働ける場所をつくる」「塩竈に住む人を増やす」ことを大きな取り組みとして、塩竈市の人口減少の解決や、地域の賑わいづくりを行います。

基本目標

1. 新しく働ける場所をつくり、安心して暮らし働けるようにする
2. 観光客の増加などにより、新しいひとの流れをつくる
3. 若い人が結婚、出産、子育てをしやすくする
4. 安心な暮らしを守る
5. 塩竈の個性を生かしたまちづくり



さまざまな視点で!



若者の視点で!

▲左) 市民代表などによる「まち・ひと・しごと創生懇談会」
右) 市役所若手職員による「まち・ひと・しごと創生推進本部ワーキング・グループ」

いよいよオープン!
浦戸ステイ・ステーション



浦戸の定住促進!
漁業後継者育成!



わかりん

旧浦戸第一、第二小学校を改修して、「桂島ステイ・ステーション」と「寒風沢ステイ・ステーション」を整備しました。

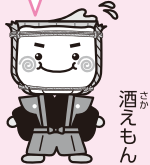
これらの施設は、島で漁業や農業を行いたい人のための長期宿泊施設や、子どもたちの体験学習ツアーなどの短期宿泊施設として使います。

イベントや観光資源を生かした交流人口増を目指します

まちの魅力をイベントなどで発信することで交流人口が増えます。また、交流人口が増えることで定住人口が増えると考えられます。

塩竈市では魅力を発信し、交流人口を増やすため、多くのイベントなどを行っています。

アンケートでは、3割以上の人が
仙台市から来ていたことが分かったよ!



酒えもん

復興と地域資源の魅力を発信!
「みなと塩竈・ゆめ博」

塩竈が持つ豊富な地域資源の魅力を「海」「食・物産」「歴史・文化」に分類し、昨年10月中に約50ものイベントが行われました。市内は多くの人で賑わいました。



▲左) 第二管区海上保安本部巡視船公開
右) どっと祭での模擬セリ体験

さらに!

魅力的なまちを目指して、いろいろな取り組みを行っています!



すし暦

芸術文化から魅力を発信!
「塩竈市杉村悖美術館」



▲大講堂でのトークイベント
▼常設展示室



市有形文化財の公民館本町分室を改装し、平成26年11月に開館した「塩竈市杉村悖美術館」。塩竈にゆかりの深い洋画家・杉村悖氏の作品を集めた美術館です。絵画の展示のほか、大きな空間の大講堂では音楽イベントやトークイベントなどを行い、市外からも多くの来場者が来ています。